県政報告

南区内公立小中学校の放射線量
全校で国の基準以下

神奈川県議会議員
民主党・かながわクラブ
きしべ都

東日本大震災を受け、県は県内の大気、水道水、食品、土壌などの放射線量などの測定をしています。それぞれの測定値は不検出、あるいは国の暫定基準値をはるかに下回っており、健康に影響がないレベルです。

横浜市では、6月から市内小中学校491校と保育所459カ所で放射線量測定を開始し、順次公表しています。南区内の学校の測定は9月6日に終了。これまで検出された数値（毎時0・03～0・16マイクロシーベルト）はすべて国の基準（毎時0・59マイクロシーベルト）を下回っています。また、10月4日には太田小で緊急的にマイクロスポットになりやすい場所（7カ所）を測定（毎時0・04～0・24マイクロシーベルト）。8月からは私立幼稚園287園でも各区で毎月1園ずつ測定を始めました。

幼稚園、保育園の測定は、これからというところが多く、小中学校のように早期の検査が望まれます。どこも、子どもが長時間過ごす場所です。また、近隣の方にとっても、具体的な数値として参考になると思います。市民の不安を解消するためにも、迅速で的確な検査・測定が必要です。

みなさまからのご意見、
ご要望をお待ちしています
きしべ都政務調査事務所
南区通町2-25-3 千々輪ビル1階
☎045-341-3385
http://kishibe-miyako.com/

文部科学省が示す
放射線量の目安

1年間に
1ミリシーベルト以下
(1000マイクロシーベルト)

0.59マイクロシーベルト(1時間)
×8(学校にいる時間)
×210(課業日数)
=991.2マイクロシーベルト